



じてんしゃスクール

尾張旭市立
in 三郷小学校



2019年11月14日(木)



公立小学校における3段階の出前授業 ＜3段階目 運転実技練習＞

6年生 83人 2クラス クラス別実施
45分間×2回 運動場

4年生の時には＜1段階目 公共マナー＞。5年生の時には＜2段階目 交通マナー・ルール＞。そして、6年生になった今回は、全員が自転車に乗って学ぶ＜3段階目 運転実技練習＞です。おまわりさんからは、「止まれ」の標識の意味と安全確認の大切さのお話がありました。その後は正しいヘルメットのかぶり方の実演。そして、安全確認動作の練習「右・左・右・うしろ」。いよいよ、自転車に乗ります。左側から乗るなど基本動作を学んだら安全確認をして進みます。一本橋（ゴムシート）にスラローム。「止まれ」の標識もあります。自転車は車のなかま。交通ルールを守って走ります。

「止まれの白い線のところで、ぴったりと止まるのが難しかった。」「思っていたよりも、まっすぐ走ったり、曲がるのが難しかった。」という感想もありました。体験を通して、運転の難しさやルールを守ることの大切さを、ひとりひとりが実感できた、よい機会となりました。



場所：尾張旭市立三郷小学校 運動場

協力：三郷小学校・愛知県守山警察署交通課・守山尾張旭交通安全協会・尾張旭市民活動課交通防犯係
豊田市交通安全学習センター・矢橋公共交通マナー育成塾

プログラム・指導・機材：交通教育NPO OSCNじてんしゃスクール



自転車は車のなかま
飛び出し事故が多いです。「止まれ」の標識
では自転車も止まります。
安全確認をして進むことがとても大切です。



命を守るヘルメット
正しくかぶり、大切に扱うことで、いざという
時に、命を守ることができます。
自分の頭に合うサイズを選び、フィットするよ
うにベルトの長さを調節しましょう。

- ヘルメットの正しいかぶり方
- ①まゆげの上のあたりまで深くかぶる
 - ②ベルトは耳をはさんで三角の形
 - ③ベルトの長さは、指が縦に2本入るくらい



- 基本の動作
- ①自転車の左側に立つ。
 - ②左側から自転車にまたがり、左足を地面につける。
 - ③安全確認をする。「右・左・右・うしろ」
 - ④ペダルを右足でこぎだす。

まっすぐ進んで、ゆっくりとスラロームをする。
「止まれ」の標識では、ブレーキで止まる。
うっかり標識を見落とししたり、スピードが速すぎてス
ラロームを曲がれない時もあります。
自転車の運転も練習が必要ですね。

児童の感想（ふりかえりシートより抜粋）

- 「止まれの標識では、自転車も止まることを初めて知りました。」
「自転車に乗る時以外でも、右・左・右・後ろの確認をするようにしたいです。」
「ヘルメットの正しいかぶり方がわかりました。」
「中学生になっても、ヘルメットをかぶって、安全確認をしようと思いました。」

みんな
自転車に
乗って体験
しました。



OSCN じてんしゃスクール
TEL 0561-52-3134 (片山)
www.oscn-school.org

